

令和3年度 堺市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告

令和4年5月
堺市（大阪府）

I. 中心市街地全体に係る評価

○計画期間：平成27年4月～令和3年3月（6年0月）

1. 計画期間終了後の市街地の概況

本市においては、平成27年3月27日に中心市街地活性化基本計画の認定を受け、令和3年3月までを計画期間として、「人が集い 賑わいと魅力あふれる『歴史文化のまち・堺』の玄関づくり」をテーマに、「まちの活力の源となる来街者の増加」「まちなかの回遊性向上による賑わい創出」「商業の魅力向上による賑わい創出」の3つを活性化の目標として掲げ、計画に記載されている事業に取り組んだ。

平成27年3月にオープンした堺市文化観光拠点「さかい利晶の杜」では、文化振興や観光集客に資する取り組みにより、多数の来館者を集めている。市民交流広場整備事業については、平成27年度に堺地方合同庁舎前の広場、平成29年度に堺市役所前の広場を整備し、行政主体の取組に加え、市民・民間主体によるイベントが多数開催されている。老朽化した市民会館を建て替え、新しい文化芸術の創造・交流・発信の拠点を整備する市民会館建替え事業により、「フェニーチェ堺」が令和元年10月にオープンするなど、中心市街地の賑わいを創出している。また、令和2年度には、堺東駅南地区第一種市街地再開発事業が完了、大浜体育館建替え事業の工事完了など、中心市街地の活性化に向けて取組を推進した。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度12月31日)

(中心市街地 区域)	平成26年 度(計画前年 度)	平成27年 度(1年目)	平成28年 度(2年目)	平成29年 度(3年目)	平成30年 度(4年目)	令和元年度 (5年目)	令和2年度 (最終年度)	令和3年度
人口	16,972	17,459	17,621	17,759	18,254	18,527	19,513	19,965
人口増減数	+66	+487	+162	+138	+495	+273	+986	+152

(2) 公示価格

(単位：円/m²)

(中心市街地 区域)	平成26年 度(計画前年 度)	平成27年 度(1年目)	平成28年 度(2年目)	平成29年 度(3年目)	平成30年 度(4年目)	令和元年度 (5年目)	令和2年度 (最終年度)	令和3年度
南三国ヶ丘町 1-5-7	254,000	258,000	265,000	280,000	300,000	321,000	321,000	325,000
北瓦町 2-4-18	448,000	460,000	485,000	545,000	650,000	756,000	733,000	753,000
戎島町 1-37	149,000	149,000	149,000	150,000	152,000	160,000	158,000	163,000
栄橋町 1-5-2	159,000	162,000	166,000	180,000	206,000	227,000	224,000	228,000
市之町東 3-2-18	156,000	159,000	163,000	178,000	204,000	225,000	221,000	225,000
大町西 1-1-25	245,000	252,000	264,000	291,000	326,000	360,000	343,000	355,000
南花田口町 2-2-13	201,000	202,000	206,000	219,000	242,000	265,000	270,000	272,000
中安井町 3-4-11	235,000	239,000	252,000	278,000	305,000	305,000	305,000	310,000
中心市街地内 調査地点平均	230,875	235,125	243,750	265,125	298,125	327,375	321,875	328,875

2. 計画した事業等は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか。(個別指標ごとではなく中心市街地の状況を総合的に判断)

【進捗・完了状況】

- ①概ね予定通り進捗・完了した ②予定通り進捗・完了しなかった

【活性化状況】

- ①活性化した
②若干活性化した
③計画策定時と変化なし
④計画策定時より悪化

3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由(2.における選択肢の理由)

中心市街地の状況は、市民会館や市民交流広場、再開発ビル、大浜体育館等様々な施設が整備され、その他ソフト面でもガシ横エリアを核とした堺東商店街活性化プロジェクトや堺東まちなか「逸品」バル等といった取組が継続的に実施されるなど、計画していた事業は主要事業を中心に実施できたため、概ね順調に進捗・完了したといえる。

関連データを見ると、中心街地の居住人口は、計画前年度の平成 26 年度から増加しており、公示価格は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和 2 年度に下落したものの、計画前年度と比較すると上昇傾向にあることが分かる。

一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響前までは、定期利用者を除く乗降客数、歩行者通行量、空き店舗等率は改善傾向にあり、目標値も達成していたが、その後新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定期利用者を除く駅乗降客数、歩行者通行量は減少し、空き店舗等の率は悪化している。

中心市街地活性化基本計画における取組を着実に実施することにより、それぞれの指標が目標値に達成したこと、また新型コロナウイルス感染症の影響があり悪化したが、居住人口及び公示価格は再び改善していることから、中心市街地は「若干活性化した」と考える。

4. 中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

【活性化状況】

- ①活性化した
②若干活性化した
③計画策定時と変化なし
④計画策定時より悪化

【詳細を記載】

堺市や関係団体等と協議・調整しながら中心市街地活性化を推進してきた結果、主要事業である「堺東駅南地区第一種市街地再開発事業」や「市民会館建替え事業」、「市民交流広場整備事業」、「博愛ビル活用事業」、「大浜体育館建替え(武道館併設)事業」等が完了した。

また、「堺市文化観光拠点(さかい利晶の杜)運営事業」や「SAKAI 散走による魅力発信事業」、「伝統産業の拠点開発、街並み形成検討事業」、「商品のノウハウ商品化事業」等の民による取組等が進んでいることから、計画に位置付けた事業について、概ね順調に実施されたと考える。

これらの事業効果から、数値目標の「定期利用者を除く駅乗降客数」は、平成 30 年度、「空き店舗等の率」は令和元年度に数値目標を超えたことから、一定活性化が図られたと評価する。しかし、令和元年度末頃から新型コロナウイルスが拡大し、経済や生活は大きな影響を受けた。それに伴い、まちを取り巻く環境も変化しており、その視点を踏まえた取組や、滞在空間の創出などウォークアブルな取組、カーボンニュートラル等の新たな視点を踏まえた取り組みなど、今後

も中心市街地の活性化を推進する必要がある。

これまでの中心市街地活性化基本計画に基づく取組により、まちづくりの機運が高まっていることから、引き続き公民連携により、中心市街地活性化に向けて取り組む必要がある。

5. 市民意識の変化

【活性化状況】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

【詳細を記載】

令和元年度堺市市民意識調査

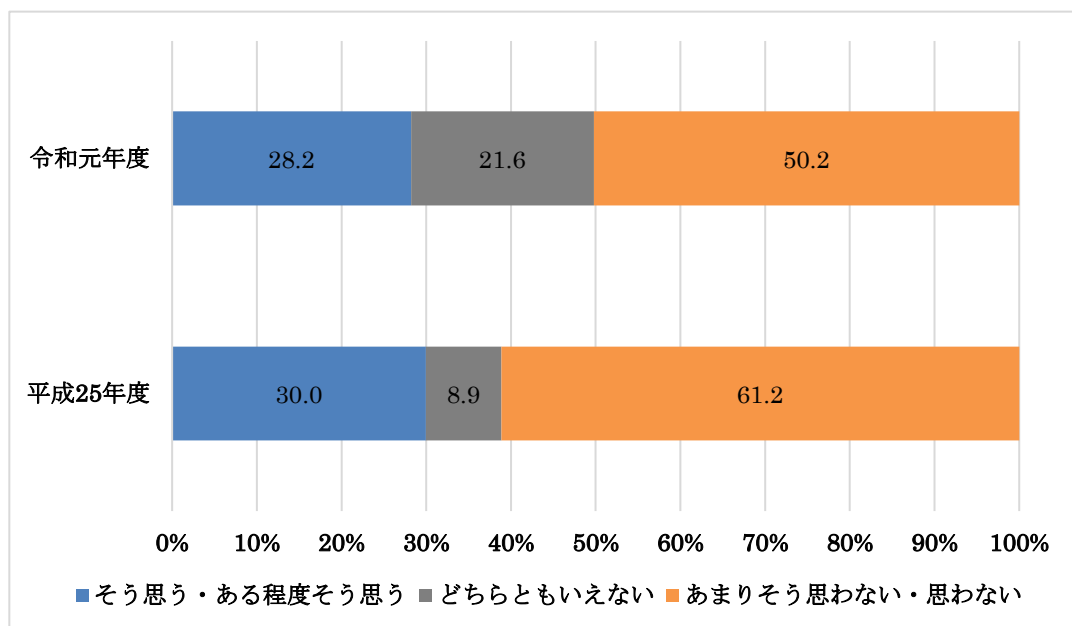
調査日：令和2年2月20(木)～令和2年3月9日(月)

調査方法：堺市内に居住する満18歳以上の市民10,000人を区別人口比・性比に合わせ住民基本台帳(外国人住民を含む)より無作為抽出(令和元年11月末時点)し、アンケートを郵送

有効回答数：4,757人(有効回答率：47.8%)

「堺市の中心部(中心市街地。堺東一堺駅間)は、にぎわっていると思いますか。」という設問に対し、「そう思う・ある程度そう思う」の割合は横ばいに対し、「あまりそう思わない・思わない」の割合は61.2%から50.2%に減少している。以上から、市民意識は若干改善していると考えられる。

「堺市の中心部(中心市街地。堺東一堺駅間)は、にぎわっていると思いますか」という設問について



6. 今後の取組

本計画は令和3年3月の計画期間満了をもって終了しているが、今後も本計画の取り組みに

よる賑わいを創出の効果を中心市街地全体へ波及させることが重要である。

また、堺市市民意識調査からも、中心市街地はにぎわっていると思う割合は増えたものの、どちらともいえないと思う割合も増加しているため、活性化に向けた一層の取り組みが必要である。引き続き、本市のまちづくり方針及び上位計画を踏まえ、これまで蓄積した資源を活用し、官民一体となって、さらなる中心市街地の活性化に向けて商業・業務・観光・居住など多様な都市機能の集積に向けた取組の促進や人中心のウォーカブルな空間の形成等に取り組んでいきたいと考える。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値		達成状況
				(数値)	(年月)	
まちの活力の源となる来街者の増加	定期利用者を除く駅乗降客数	41,925人/日 (H24)	43,900人/日 (R2)	33,252人/日	R4.4	C
まちなかの回遊性向上による賑わいの創出	歩行者通行量	3,885人/日 (H24)	4,390人/日 (R2)	3,314人/日	R3.7	C
商業の魅力向上による賑わい創出	空き店舗等の率	17.8% (H26)	11.1% (R2)	13.0%	R3.8	B2

<達成状況の分類>

A：目標達成、B1：概ね目標達成（基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている）、B2：基準値より改善（基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない）、C：基準値に及ばない

※上記について、関連する事業等が予定どおり進捗・完了しなかった場合は、小文字にして下さい。（注：小文字のa、b1、b2、cは下線を引いて下さい）

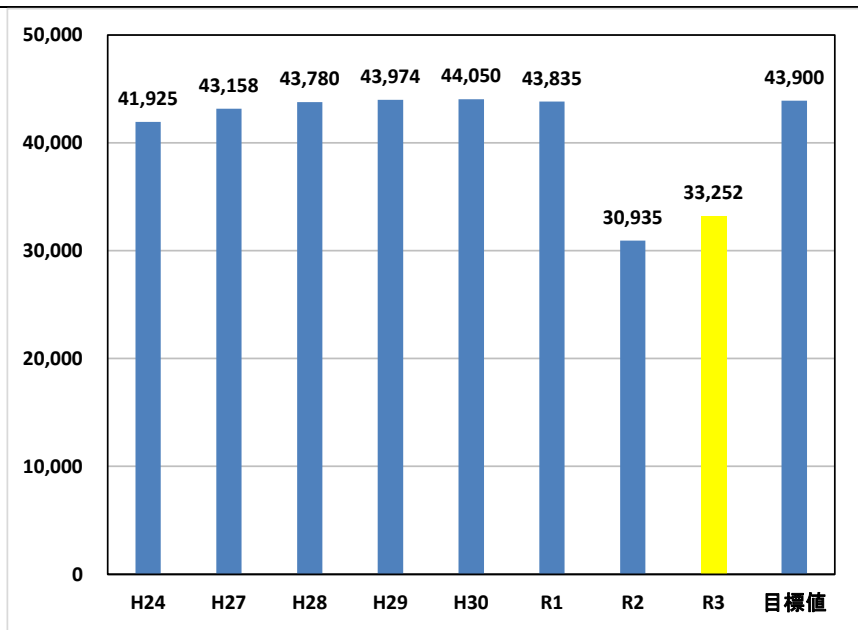
2. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「定期利用者を除く駅乗降客数」(目標の達成状況【 C 】)

※目標値設定の考え方認定基本計画 P60～P62 参照

●調査結果と分析

年	(単位)
H24	41,925 (基準年値)
H27	43,158
H28	43,780
H29	43,974
H30	44,050
R1	43,835
R2	30,935
R3	33,252
	43,900 (目標値)



※調査方法：鉄道事業者に聞き取り、R3年度の値は速報値
 ※調査月：令和4年4月
 ※調査主体：堺市
 ※調査対象：堺東駅・堺駅の定期利用者を除く駅乗降客数

〈分析内容〉

ソフト事業等の効果の発現により、平成30年度の値が目標値を上回ったことに加え、市民会館建替え事業等の完了により、さらなる増加が見込まれていた。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度の値は、過去の値に比べ大幅に減少し、令和3年度は、令和2年度よりも新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくなったことから、やや改善したが、目標値を下回った。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. 市民会館建替え事業（堺市）

事業実施期間	平成27年度～令和元年度（完了）
事業概要	老朽化し閉館した市民会館を、新しい芸術文化の創造・交流・発信の拠点として建て替える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業） （平成27年度～平成30年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	○事業効果 優れた文化芸術にふれる機会を提供するための機能・発展するとともに、文化芸術活動を通じた多様な交流やまちの賑わい創出、都心地域における良好な都市空間の形成に寄与する。 （計画当初新市民会館来館者数想定：約45万人） ○進捗状況 平成26～27年度：旧市民会館解体工事 平成28年度～：建設工事

	<p>平成 30 年度：竣工 令和元年 10 月：開館、オープニング事業実施 （～12 月まで） 令和 2 年 1 月～：施設運営開始 （令和 2 年 4 月以降も継続中） ※令和元年度における来場者数は 205,089 人 令和 2 年度における来場者数は 107,200 人 令和 3 年度における来場者数は 229,281 人</p>
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、貸館利用者や公演の中止・延期等による来場者の減少があったため。
計画終了後の状況及び事業効果	堺市民芸術文化ホール（愛称：フェニーチェ堺）は令和元年 10 月のオープン以来、堺市の中核文化施設として市内外に都市魅力の発信を行っている。海外招聘オーケストラ公演をはじめ、オペラ、バレエ等多彩な公演を実施し、多数の来場者に魅力的な公演鑑賞機会を提供し、まちの賑わいに寄与している。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、指定管理者による多彩な主催公演を継続実施する。

②. 市民交流広場整備事業（堺市）

事業実施期間	平成 25 年度～平成 29 年度（完了）
事業概要	市役所前の広場及び堺東行政ゾーン整備による国施設更新等により発生する敷地を一体的に活用し、イベントの開催等多目的に使用できる広場の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（国土交通省）（平成 26 年度～平成 28 年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>○事業効果 市役所及び国施設と広場が一体となって本市の玄関口にふさわしいランドマークを形成し、まちの顔づくりや楽しく回遊できる中心市街地の形成に資する。（整備後のイベント実施回数想定約 100 回／年）</p> <p>○進捗状況 平成 27 年 5 月：合同庁舎前広場完成 平成 29 年 9 月：市役所前広場完成 令和 3 年度利用回数：236 回</p>
達成した理由	市民交流広場整備事業により、広場を整備し、利用促進を図ったため。
計画終了後の状況及び事業効果	計画終了後も利用促進を図ったことにより、イベント実施回数は増加しており、中心市街地の活性化に寄与している。
事業の今後について	引き続き市民交流広場を活用し、イベント等多目的に活用できるよう利用促進を図る。

③. 堺市文化観光拠点（さかい利晶の杜）運営事業（堺市）

事業実施期間	平成 26 年度～（実施中）
事業概要	堺の歴史文化の魅力を発信し、文化振興や観光集客に資する文化観光拠点を運営する。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>○事業効果</p> <p>堺市文化観光拠点「さかい利晶の杜」を運営し、周辺で取り組まれているまちづくり活動とも連携を図りながら、町の賑わい創出と地域経済の活性化、都市魅力の向上を図る。 (想定来館者数：約 15～20 万人)</p> <p>○進捗状況</p> <p>来館者数（平成 27 年度）：約 45 万人 来館者数（平成 28 年度）：約 33 万人 来館者数（平成 29 年度）：約 31 万人 来館者数（平成 30 年度）：約 29 万人 来館者数（令和元年度）：約 27 万人 来館者数（令和 2 年度）：約 13 万人 来館者数（令和 3 年度）：約 10 万人</p>
達成出来なかった理由	<p>令和元年度までは、マルシェや企画展など集客効果の高い取組の実施により、毎年度、目標設定した来館者数を達成できたが、令和 2 年度及び令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドや国内旅行客の減少、緊急事態宣言期間等に伴う臨時休館のため、大幅に来館者数が減少した。</p>
計画終了後の状況及び事業効果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により依然厳しい状況ではあるが、今年度は集客力の高い企画展や定期的な賑いイベントの実施を予定しており、来館者数も目標値に近い数字まで回復していく見込み。</p> <p>平成 27 年度の開館から令和 3 年度末まで累計約 193 万人の方に来館いただいております。周辺で取り組まれているまちづくり活動との連携による賑わい創出やさかい利晶の杜を拠点とした周遊促進による地域経済の活性化など都市魅力の向上に寄与している。</p>
事業の今後について	<p>定期的な企画展の実施や集客イベントの開催と併せて、令和 3 年 4 月に導入したデジタル技術を活用した VR コンテンツへの誘客を図り、コロナ禍で落ち込んだ来館者数の回復に取り組む。</p> <p>今後は、企画展や各種イベントを多角的に展開するなど館そのものの魅力のさらなる向上・発信に取り組む。また、世界遺産【百舌鳥・古市古墳群】を目的とした来訪者の取り込みにも取り組んでいくことでさらなる来館者の獲得に取り組んでいく。</p>

④. 大浜体育館建替え（武道館併設）事業（堺市）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度（完了）
事業概要	老朽化した体育館建替えと、武道館の併設設備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	学校施設環境改善交付金（令和 2 年度）
事業目標値・最新値	○事業効果

及び達成状況	<p>南大阪最大規模となる体育館の特性を最大限に活かし、本市をホームタウンとするVリーグ・堺ブレイザーズのホームゲームを誘致・開催するなどスポーツを通じた地域の活性化や交流人口の増加に寄与する。</p> <p>○進捗状況 「事業目標値来訪者増加想定約 3 万人/年 最新値（集計中）人/年」</p>
達成した（出来なかった）理由	現在、集計中のため不明。
計画終了後の状況及び事業効果	<p>令和 3 年 4 月に供用開始し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、約 2 ヶ月間閉館したが、現在は通常どおり運営している。</p> <p>南大阪最大規模となる体育館の特性を最大限に活かし、本市をホームタウンとするVリーグ・堺ブレイザーズのホームゲームを誘致・開催するなどスポーツを通じた地域の活性化や交流人口の増加に寄与している。</p>
事業の今後について	今後も大規模スポーツ施設に、集客促進につながる全国規模の大会やトップレベルチームの公式戦等を積極的に誘致し、交流人口の増加を図る。

⑤. ガシ横エリアを核とした堺東商店街活性化プロジェクト（堺東駅前商店街協同組合、堺東商店街商業協同組合、堺銀座南商店街、民間事業者）【平成 28 年度追加】

事業実施期間	平成 28 年度～令和元年度（完了）
事業概要	堺東の魅力向上につながるハード・ソフトの商店街活性化を行う。
国の支援措置名及び支援期間	<p>地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（平成 29 年度～平成 30 年度）</p> <p>地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（中心市街地活性化支援事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（令和元年度）</p>
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>○事業効果 地域ニーズに対応した魅力向上につながるハード・ソフトの商店街活性化事業による新たな魅力創出とまちの賑わいを図る。</p> <p>○進捗状況 ガシ横マーケット 平成 28 年度開催回数：12 回 平成 29 年度開催回数：12 回 平成 30 年度開催回数：12 回 令和元年度開催回数：12 回 令和 2 年度開催回数：5 回 令和 3 年度開催回数：0 回 GashiFlea（ガシフリ）（平成 29 年度～） 平成 29 年度開催回数：10 回 平成 30 年度開催回数：12 回</p>

	令和元年度開催回数：12回 令和2年度開催回数：5回 令和3年度開催回数：0回
達成した理由	専門人材の助言・指導を受けて、改善しながらソフト事業を実施したことで賑わいを創出することができたため。
計画終了後の状況及び事業効果	新型コロナウイルス感染症等の感染拡大の影響等により、現在は事業を実施できていない。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症等の感染拡大状況等を勘案しながら、今後の取組みについて点検・検討を行う。

⑥. 堺東まちなか「逸品」バル（ガシバル実行委員会）

事業実施期間	平成23年度～（実施中）
事業概要	堺東地域の飲食店などを中心としたバル事業の実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	○事業効果 地域の飲食店等を中心とした魅力発信によるまちの賑わいの創出を図る。 ○進捗状況 開催回数（平成27年度）：2回 開催回数（平成28年度）：2回 開催回数（平成29年度）：1回 開催回数（平成30年度）：1回 開催回数（令和元年度）：1回 開催回数（令和2年度）：0回 開催回数（令和3年度）：0回
達成した理由	飲食店等が中心となってバルイベントを実施したことで、中心市街地への来街のきっかけを作り、賑わい創出に繋げることができたため。
計画終了後の状況及び事業効果	新型コロナウイルス感染症等の感染拡大の影響等により、現在は事業を実施できていない。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症等の感染拡大状況等を勘案しながら、今後の取組について検討する。

⑦. 堺東イルミネーション事業（堺市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成12年度～（実施中）
事業概要	堺東駅周辺地域のイルミネーションの実施。平成14年度以降は大小路イルミネーション事業と一体的に実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	○事業効果 イルミネーションによる来街者増加によるまちの賑わいの創出や都市魅力の向上を図る。 ○進捗状況 平成27年度：平成27年12月1日～平成28年1月15日

	平成28年度：平成28年12月1日～平成29年1月15日 平成29年度：平成29年12月1日～平成30年1月15日 平成30年度：平成30年11月30日～平成31年1月15日 令和元年度：令和元年11月29日～令和2年1月15日 令和2年度：令和2年12月1日～令和3年1月15日 令和3年度：令和3年12月1日～令和4年1月15日
達成した理由	定期的に開催することで、中心市街地の活性化に寄与したため。
計画終了後の状況及び事業効果	毎年12月1日～1月15日まで開催しており、中心市街地の活性化に寄与している。
事業の今後について	引き続き大小路イルミネーション事業と連携し、取り組みを行っていく。

⑧. 大小路イルミネーション事業（堺市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成14年度～（実施中）
事業概要	堺東イルミネーション事業と一体的に大小路シンボルロードのイルミネーションの実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	○事業効果 イルミネーションによる来街者増加によるまちの賑わいの創出や都市魅力の向上を図る。 ○進捗状況 平成27年度：平成27年12月1日～平成28年1月15日 平成28年度：平成28年12月1日～平成29年1月15日 平成29年度：平成29年12月1日～平成30年1月15日 平成30年度：平成30年11月30日～平成31年1月15日 令和元年度：令和元年11月29日～令和2年1月15日 令和2年度：令和2年12月1日～令和3年1月15日 令和3年度：令和3年12月1日～令和4年1月15日
達成した理由	定期的に開催することで、中心市街地の活性化に寄与したため。
計画終了後の状況及び事業効果	毎年12月1日～1月15日まで開催しており、中心市街地の活性化に寄与している。
事業の今後について	引き続き堺東イルミネーション事業と連携し、取り組みを行っていく。

⑨. 堺少女歌劇団プロジェクト（堺少女歌劇団実行委員会）

事業実施期間	平成25年度～（実施中）
--------	--------------

事業概要	地域商業者が支援し、少女たちにレッスンの場を提供し、新たな魅力の創出と商店街の活性化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	○事業効果 本市の魅力を発信しつつ新しい魅力の創出によるまちの賑わいと商店街の活性化を図る。 ○進捗状況 令和元年度：第6回本公演実施 その他イベント出演 令和2年度：第7回本公演実施 その他イベント出演 令和3年度：第8回本公演実施 その他イベント出演
達成した理由	定期的に開催することで、中心市街地の活性化に寄与したため。
計画終了後の状況及び事業効果	本公演やその他のイベントに参加しており、中心市街地の活性化に寄与している。
事業の今後について	これまでの実績等を見ながら、今後の取り組みについて検討を行う。

⑩. SAKAI 散走による魅力発信事業（民間事業者）【平成31年度追加】

事業実施期間	平成30年度～（実施中）
事業概要	自転車で散歩するようにまちを回遊する、自転車観光ガイド付き「SAKAI 散走」を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	○事業効果 地場産業である自転車を活用しまちを回遊することにより中心市街地の要所にある魅力を発信することを資する。 ○進捗状況 平成31年度イベント実施回数 2回 令和2年度イベント実施回数 1回 令和3年度イベント実施回数 2回
達成した理由	定期的に開催することで、中心市街地の活性化に寄与したため。
計画終了後の状況及び事業効果	まちづくり部会内のチーム SCC による SAKAI 散走の取組が根付いており、中心市街地の要所にある魅力を発信することに寄与した。
事業の今後について	今後も継続して SCC による SAKAI 散走の実施が行われる予定である。

●今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標を達成することはできなかった。

今後は新たに整備した市民会館や市民交流広場、大浜体育館をより活用していくためにさらなる利用促進を図っていく。堺市文化観光拠点では、企画展や各種イベントを多角的に展開するなど館そのものの魅力のさらなる向上・発信に取り組む。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、開催できていないもしくは開催回数が減少し

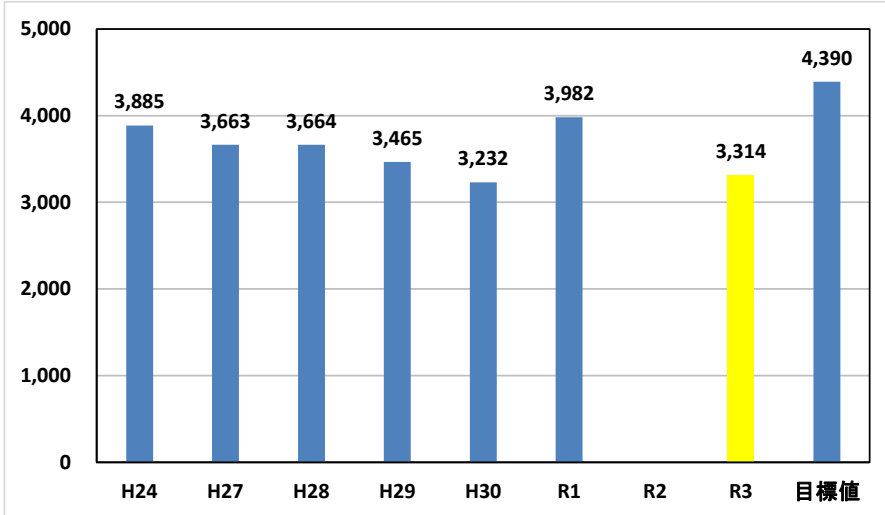
たガシ横エリアを核とした堺東商店街活性化プロジェクトや堺東まちなか「逸品」バルについては、今後の取組について検討していく。定期的に開催している堺東イルミネーション事業と大小路イルミネーション事業は今後とも連携を持続していくとともに、更なる来街者意識の向上に取り組む。

3. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「歩行者通行量」(目標の達成状況【 C 】)

※目標値設定の考え方認定基本計画 P63～P66 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H24	3,885 (基準年値)
H27	3,663
H28	3,664
H29	3,465
H30	3,232
R1	3,982
R2	—
R3	3,314
	4,390 (目標値)

※調査方法：歩行者通行量調査を実施

※調査月：令和3年7月

※調査主体：堺市

※調査対象：歩行者通行量

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度での調査を見送った。

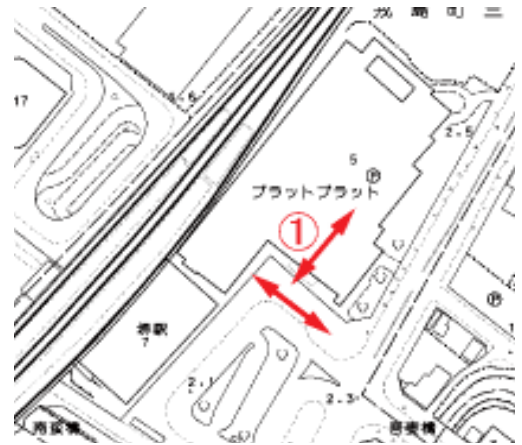
(調査地点図)



<堺東駅地域>



<山之口地域>



<堺駅地域>

<分析内容>

歩行者通行量は徐々に減少していたが、ソフト事業等の効果の発現により、令和元年度からほとんどの地点で増加傾向が見られた。さらに、計画期間を1年延長し、市民会館建替事業等の効果により、更なる増加が見込まれていた。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標値を下回る数値になった。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. 市民会館建替事業（堺市）

事業実施期間	平成27年度～令和元年度（完了）
事業概要	老朽化し閉館した市民会館を、新しい芸術文化の創造・交流・発信の拠点として建て替える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業） （平成27年度～平成30年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	○事業効果 優れた文化芸術にふれる機会を提供するための機能・発展するとともに、文化芸術活動を通じた多様な交流やまちの賑わい創出、都心地域における良好な都市空間の形成に寄与する。 （計画当初新市民会館来館者数想定：約45万人） ○進捗状況 平成26～27年度：旧市民会館解体工事 平成28年度～：建設工事 平成30年度：竣工 令和元年10月：開館、オープニング事業実施（～12月まで） 令和2年1月～：施設運営開始（令和2年4月以降も継続中） ※令和元年度における来場者数は205,089人 令和2年度における来場者数は107,200人 令和3年度における来場者数は229,281人
達成した（出来なか	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、貸館利用者や公

った)理由	演の中止・延期等による来場者の減少があったため。
計画終了後の状況及び事業効果	堺市民芸術文化ホール(愛称:フェニーチェ堺)は令和元年10月のオープン以来、堺市の中枢文化施設として市内外に都市魅力の発信を行っている。海外招聘オーケストラ公演をはじめ、オペラ、バレエ等多彩な公演を実施し、多数の来場者に魅力的な公演鑑賞機会を提供し、まちの賑わいに寄与している。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、指定管理者による多彩な主催公演を継続実施する。

②. 堺東駅南地区第一種市街地再開発事業(堺東駅南地区再開発株式会社)

事業実施期間	平成25年度～令和2年度(完了)
事業概要	老朽化した商業ビルを建て替え、商業施設に加え、立地を活かした都市型住宅の供給による居住機能や公益施設整備による交流機能の充実等を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)(平成26年度～令和2年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	○事業効果 堺東駅前交通広場に隣接し、南海高野線と幹線道路に挟まれた地区の再開発事業により、まちのにぎわい創出や良好な都市空間の形成に寄与する。(住宅整備戸数約330戸、30店舗) ○進捗状況 平成27年9月:施行認可 平成28年10月:権利変換計画認可 平成30年4月:除却工事完了 令和3年2月:施設建築物工事完了
達成した理由	支援期間内に事業を終えたため。
計画終了後の状況及び事業効果	令和3年4月に供用を開始し、中心市街地の居住人口の増加により、中心市街地の活性化に寄与している。
事業の今後について	令和2年度事業完了

③. 市民交流広場整備事業(堺市)

事業実施期間	平成25年度～平成29年度(完了) 【認定基本計画:平成25年度～令和元年度】
事業概要	市役所前の広場及び堺東行政ゾーン整備による国施設更新等により発生する敷地を一体的に活用し、イベントの開催等多目的に使用できる広場の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)(平成26年度～平成28年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	○事業効果 市役所及び国施設と広場が一体となって本市の玄関口にふさわしいランドマークを形成し、まちの顔づくりや楽しく回遊できる中心市街地の形成に資する。(整備後のイベント実施回数想定約100回/年)

	○進捗状況 平成 27 年 5 月：合同庁舎前広場完成 平成 29 年 9 月：市役所前広場完成 令和 3 年度利用回数：236 回
達成した理由	市民交流広場整備事業により、広場を整備し、利用促進を図ったため。
計画終了後の状況及び事業効果	計画終了後も利用促進を図ったことにより、イベント実施回数は増加しており、中心市街地の活性化に寄与している。
事業の今後について	引き続き市民交流広場を活用し、イベント等多目的に活用できるように利用促進を図る。

④. 堺市文化観光拠点（さかい利晶の杜）運営事業（堺市）

事業実施期間	平成 26 年度～（実施中）
事業概要	堺の歴史文化の魅力を発信し、文化振興や観光集客に資する文化観光拠点を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	○事業効果 堺市文化観光拠点「さかい利晶の杜」を運営し、周辺で取り組まれているまちづくり活動とも連携を図りながら、町の賑わい創出と地域経済の活性化、都市魅力の向上を図る。 （想定来館者数：約 15～20 万人） ○進捗状況 来館者数（平成 27 年度）：約 45 万人 来館者数（平成 28 年度）：約 33 万人 来館者数（平成 29 年度）：約 31 万人 来館者数（平成 30 年度）：約 29 万人 来館者数（令和元年度）：約 27 万人 来館者数（令和 2 年度）：約 13 万人 来館者数（令和 3 年度）：約 10 万人
達成出来なかった理由	令和元年度までは、マルシェや企画展など集客効果の高い取組の実施により、毎年度、目標設定した来館者数を達成できたが、令和 2 年度及び令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドや国内旅行客の減少、緊急事態宣言期間等に伴う臨時休館のため、大幅に来館者数が減少した。
計画終了後の状況及び事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響により依然厳しい状況ではあるが、今年度は集客力の高い企画展や定期的な賑いイベントの実施を予定しており、来館者数も目標値に近い数字まで回復していく見込み。 平成 27 年度の開館から令和 3 年度末まで累計約 193 万人の方に来館いただいております。周辺で取り組まれているまちづくり活動との連携による賑わい創出やさかい利晶の杜を拠点とした周遊促進による地域経済の活性化など都市魅力の向上に寄与している。
事業の今後について	定期的な企画展の実施や集客イベントの開催と併せて、令

て	<p>和 3 年 4 月に導入したデジタル技術を活用した VR コンテンツへの誘客を図り、コロナ禍で落ち込んだ来館者数の回復に取り組む。</p> <p>今後は、企画展や各種イベントを多角的に展開するなど館そのものの魅力のさらなる向上・発信に取り組む。また、世界遺産【百舌鳥・古市古墳群】を目的とした来訪者の取り込みにも取り組んでいくことでさらなる来館者の獲得に取り組んでいく。</p>
---	--

⑤. 大浜体育館建替え（武道館併設）事業（堺市）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度（完了）
事業概要	老朽化した体育館建替えと、武道館の併設設備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	学校施設環境改善交付金（令和 2 年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>○事業効果</p> <p>南大阪最大規模となる体育館の特性を最大限に活かし、本市をホームタウンとするVリーグ・堺ブレイザーズのホームゲームを誘致・開催するなどスポーツを通じた地域の活性化や交流人口の増加に寄与する。</p> <p>○進捗状況</p> <p>「事業目標値来訪者増加想定約 3 万人/年 最新値（集計中）人/年」</p>
達成した（出来なかった）理由	現在、集計中のため不明。
計画終了後の状況及び事業効果	<p>令和 3 年 4 月に供用開始し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、約 2 ヶ月間閉館したが、現在は通常どおり運営している。</p> <p>南大阪最大規模となる体育館の特性を最大限に活かし、本市をホームタウンとするVリーグ・堺ブレイザーズのホームゲームを誘致・開催するなどスポーツを通じた地域の活性化や交流人口の増加に寄与している。</p>
事業の今後について	今後も大規模スポーツ施設に、集客促進につながる全国規模の大会やトップレベルチームの公式戦等を積極的に誘致し、交流人口の増加を図る。

⑥. ガシ横エリアを核とした堺東商店街活性化プロジェクト（堺東駅前商店街協同組合、堺東商店街商業協同組合、堺銀座南商店街、民間事業者）【平成 28 年度追加】

事業実施期間	平成 28 年度～令和元年度（完了）
事業概要	堺東の魅力向上につながるハード・ソフトの商店街活性化を行う。
国の支援措置名及び支援期間	<p>地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（平成 29 年度～平成 30 年度）</p> <p>地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（中心市街地活性化支援事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（令和元年度）</p>

事業目標値・最新値 及び達成状況	<p>○事業効果 地域ニーズに対応した魅力向上につながるハード・ソフトの商店街活性化事業による新たな魅力創出とまちの賑わいを図る。</p> <p>○進捗状況 ガシ横マーケット 平成 28 年度開催回数：12 回 平成 29 年度開催回数：12 回 平成 30 年度開催回数：12 回 令和元年度開催回数：12 回 令和 2 年度開催回数：5 回 令和 3 年度開催回数：0 回</p> <p>GashiFlea（ガシフリ）（平成 29 年度～） 平成 29 年度開催回数：10 回 平成 30 年度開催回数：12 回 令和元年度開催回数：12 回 令和 2 年度開催回数：5 回 令和 3 年度開催回数：0 回</p>
達成した理由	専門人材の助言・指導を受けて、改善しながらソフト事業を実施したことで賑わいを創出することができたため。
計画終了後の状況 及び事業効果	新型コロナウイルス感染症等の感染拡大の影響等により、現在は事業を実施できていない。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症等の感染拡大状況等を勘案しながら、今後の取組みについて点検・検討を行う。

⑦. 堺東まちなか「逸品」バル（ガシバル実行委員会）

事業実施期間	平成 23 年度～（実施中）
事業概要	堺東地域の飲食店などを中心としたバル事業の実施。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値 及び達成状況	<p>○事業効果 地域の飲食店等を中心とした魅力発信によるまちの賑わいの創出を図る。</p> <p>○進捗状況 開催回数（平成 27 年度）：2 回 開催回数（平成 28 年度）：2 回 開催回数（平成 29 年度）：1 回 開催回数（平成 30 年度）：1 回 開催回数（令和元年度）：1 回 開催回数（令和 2 年度）：0 回 開催回数（令和 3 年度）：0 回</p>
達成した（出来なかつた）理由	飲食店等が中心となってバルイベントを実施したことで、中心市街地への来街のきっかけを作り、賑わい創出に繋げることができたため。
計画終了後の状況 及び事業効果	新型コロナウイルス感染症等の感染拡大の影響等により、現在は事業を実施できていない。

事業の今後について	新型コロナウイルス感染症等の感染拡大状況等を勘案しながら、今後の取組について検討する。
-----------	---

⑧. 堺東イルミネーション事業（堺市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 12 年度～（実施中）
事業概要	堺東駅周辺地域のイルミネーションの実施。平成 14 年度以降は大小路イルミネーション事業と一体的に実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	○事業効果 イルミネーションによる来街者増加によるまちの賑わいの創出や都市魅力の向上を図る。 ○進捗状況 平成 27 年度：平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月 15 日 平成 28 年度：平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 1 月 15 日 平成 29 年度：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 15 日 平成 30 年度：平成 30 年 11 月 30 日～平成 31 年 1 月 15 日 令和元年度：令和元年 11 月 29 日～令和 2 年 1 月 15 日 令和 2 年度：令和 2 年 12 月 1 日～令和 3 年 1 月 15 日 令和 3 年度：令和 3 年 12 月 1 日～令和 4 年 1 月 15 日
達成した理由	定期的に開催することで、中心市街地の活性化に寄与したため。
計画終了後の状況及び事業効果	毎年 12 月 1 日～1 月 15 日まで開催しており、中心市街地の活性化に寄与している。
事業の今後について	引き続き大小路イルミネーション事業と連携し、取り組みを行っていく。

⑨. 大小路イルミネーション事業（堺市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 14 年度～（実施中）
事業概要	堺東イルミネーション事業と一体的に大小路シンボルロードのイルミネーションの実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	○事業効果 イルミネーションによる来街者増加によるまちの賑わいの創出や都市魅力の向上を図る。 ○進捗状況 平成 27 年度：平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月 15 日 平成 28 年度：平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 1 月 15 日 平成 29 年度：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 15 日

	日 平成 30 年度：平成 30 年 11 月 30 日～平成 31 年 1 月 15 日 令和元年度：令和元年 11 月 29 日～令和 2 年 1 月 15 日 令和 2 年度：令和 2 年 12 月 1 日～令和 3 年 1 月 15 日 令和 3 年度：令和 3 年 12 月 1 日～令和 4 年 1 月 15 日
達成した理由	定期的に開催することで、中心市街地の活性化に寄与したため。
計画終了後の状況及び事業効果	毎年 12 月 1 日～1 月 15 日まで開催しており、中心市街地の活性化に寄与している。
事業の今後について	引き続き堺東イルミネーション事業と連携し、取り組みを行っていく。

⑩. 堺少女歌劇団プロジェクト（堺少女歌劇団実行委員会）

事業実施期間	平成 25 年度～（実施中）
事業概要	地域商業者が支援し、少女たちにレッスンの場を提供し、新たな魅力の創出と商店街の活性化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	○事業効果 本市の魅力を発信しつつ新しい魅力の創出によるまちの賑わいと商店街の活性化を図る。 ○進捗状況 令和元年度：第 6 回本公演実施 その他イベント出演 令和 2 年度：第 7 回本公演実施 その他イベント出演 令和 3 年度：第 8 回本公演実施 その他イベント出演
達成した理由	定期的に開催することで、中心市街地の活性化に寄与したため。
計画終了後の状況及び事業効果	本公演やその他のイベントに参加しており、中心市街地の活性化に寄与している。
事業の今後について	これまでの実績等を見ながら、今後の取り組みについて検討を行う。

⑪. SAKAI 散走による魅力発信事業（民間事業者）【平成 31 年度追加】

事業実施期間	平成 30 年度～（実施中）
事業概要	自転車散歩するようにまちを回遊する、自転車観光ガイド付き「SAKAI 散走」を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	○事業効果 地場産業である自転車を活用しまちを回遊することにより中心市街地の要所にある魅力を発信することを資する。 ○進捗状況 平成 31 年度イベント実施回数 2 回 令和 2 年度イベント実施回数 1 回 令和 3 年度イベント実施回数 2 回

達成した理由	定期的に開催することで、中心市街地の活性化に寄与したため。
計画終了後の状況及び事業効果	まちづくり部会内のチーム SCC による SAKAI 散走の取組が根付いており、中心市街地の要所にある魅力を発信することに寄与した。
事業の今後について	今後も継続して SCC による SAKAI 散走の実施が行われる予定である。

●今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標を達成することはできなかった。

今後は新たに整備した市民会館や市民交流広場、大浜体育館をより活用していくためにさらなる利用促進を図っていく。堺市文化観光拠点では、企画展や各種イベントを多角的に展開するなど館そのものの魅力のさらなる向上・発信に取り組む。

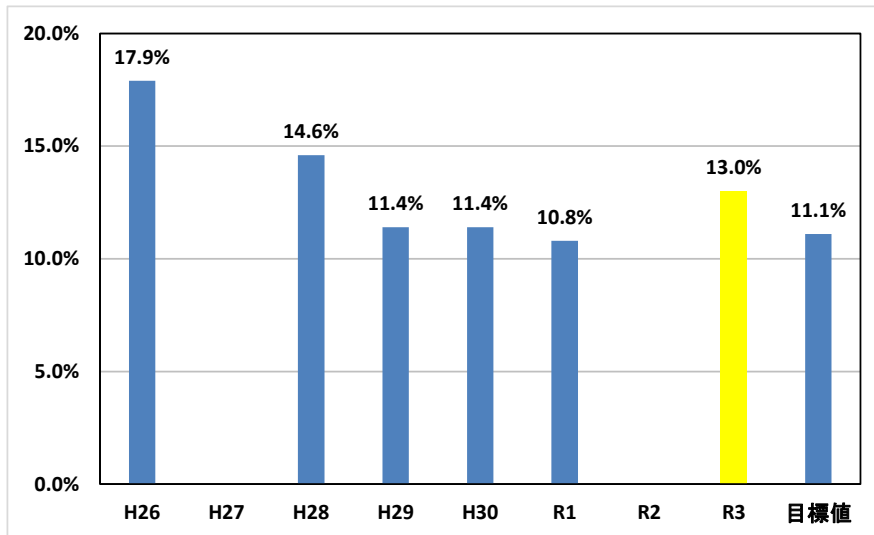
また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、開催できていないもしくは開催回数が減少したガシ横エリアを核とした堺東商店街活性化プロジェクトや堺東まちなか「逸品」バルについては、今後の取組について検討していく。定期的に行っている堺東イルミネーション事業と大小路イルミネーション事業は今後とも連携を持続していくとともに、更なる賑わいの創出を図っていく。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「空き店舗等の率」(目標の達成状況【 B2 】)

※目標値設定の考え方認定基本計画 P67～P68 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H24	17.8 (基準年値)
H27	—
H28	14.6
H29	11.4
H30	11.4
R1	10.8
R2	—
R3	13.0
	11.1 (目標値)

※調査方法：空き店舗等調査を実施

※調査月：令和3年8月～9月

※調査主体：堺市

※調査対象：空き店舗等（堺東地域、山之口地域、堺駅地域）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度の調査を見送った。

(調査地点図)



<堺東駅地域>



<山之口地域>



<堺駅地域>

(単位：%)

	平成26年度 (基準年値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
堺東駅地域	13.1	—	12.7	11.5	9.6	8.3	—	11.6
山之口地域	19.0	—	33.0	18.4	26.7	24.3	—	25.3
堺駅地域	10.3	—	14.8	10.2	10.4	10.6	—	11.9

<分析内容>

空き店舗等の率は徐々に改善される傾向が見られた。特に、堺東駅の空き店舗等の率は改善されていた。

しかし、令和元年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、閉店する店舗が見られ、空き店舗等の率は目標値を下回ることとなった。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

① 堺東駅南地区第一種市街地再開発事業（堺東駅南地区再開発株式会社）

事業実施期間	平成25年度～令和2年度（完了）
事業概要	老朽化した商業ビルを建て替え、商業施設に加え、立地を活かした都市型住宅の供給による居住機能や公益施設整備に

	よる交流機能の充実等を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省) (平成26年度～令和2年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	○事業効果 堺東駅前交通広場に隣接し、南海高野線と幹線道路に挟まれた地区の再開発事業により、まちのにぎわい創出や良好な都市空間の形成に寄与する。(住宅整備戸数約330戸、30店舗) ○進捗状況 平成27年9月：施行認可 平成28年10月：権利変換計画認可 平成30年4月：除却工事完了 令和3年2月：施設建築物工事完了
達成した理由	支援期間内に事業を終えたため。
計画終了後の状況及び事業効果	令和3年4月に供用を開始し、中心市街地の居住人口の増加により、中心市街地の活性化にも寄与している。
事業の今後について	令和2年度事業完了

②. 地域コミュニティ形成促進事業補助(空き店舗等活用促進事業)(堺市)

事業実施期間	平成22年度～(実施中)
事業概要	補助事業により、空き店舗への商店街の不足業種等の誘致や空き店舗でのコミュニティ活性化事業を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	○事業効果 商店街等が取り組む新規テナント誘致活動や、空き店舗等でのコミュニティ活性化事業を促進し、中心市街地の商業機能の充実を図ることにより、まちの賑わいにつながる商業の魅力向上に寄与する。(1店舗/年を想定) ○進捗状況 平成27年度：1件 平成28年度：2件 平成29年度：3件 平成30年度：0件 令和元年度：0件 令和2年度：1件 令和3年度：0件
達成した理由	中心市街地エリアにおいて、空き店舗を活用したチャレンジショップ事業等を実施するなど、当該エリアの魅力向上に寄与したため。
計画終了後の状況及び事業効果	計画終了後も引き続き事業実施しているが、昨年度は支援実績がなかった。
事業の今後について	今後も、地域ニーズを踏まえた空き店舗活用事業を支援することで、買物利便性の向上及び生活環境の充実を図り、商業の振興に寄与していく。

③. 都心地域業務系機能集積促進事業(堺市)

事業実施期間	平成 22 年度～（実施中）
事業概要	都心地域に業務系機能の集積を促進するため、事業所等 新設又は移転する場合に賃料等の一部を補助。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値 及び達成状況	○事業効果 都心地域に業務系機能を集積させることにより、市内産業 の活性化、雇用の拡大及びまちの賑わい創出を図る。 （1 事業所／年を想定） ○進捗状況（空き店舗等調査範囲内／中心市街地の区域内） 平成 27 年度：1 件（11 件） 平成 28 年度：0 件（1 件） 平成 29 年度：1 件（1 件） 平成 30 年度：1 件（1 件） 令和元年度：1 件（1 件） 令和 2 年度：1 件（2 件） 令和 3 年度：1 件（2 件）
達成した理由	市内外の中小企業、スタートアップや金融機関、不動産会社 へ積極的な周知活動を行うことにより、概ね順調に進捗でき たため。
計画終了後の状況 及び事業効果	中心市街地への業務系機能の集積について、製造業・卸売業・ 金融保険業・情報通信業など幅広い業種の事業所が新たに開 設され、市内の雇用を創出した。
事業の今後につい て	今後も引き続き事業を進めることにより、更に本事業利用件 数の増加を目指し、引いては市内産業の活性化を図っていく。

●今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標を達成することはできなかった。

令和元年度まで空き店舗等率は、改善されていたことから、主要なソフト事業である地域コミュニティ形成促進事業補助や都心地域業務系機能促進事業の効果は見られたため、今後も事業を継続していくとともに、その他の事業の取組の実施していくことにより、商業の活性化を図っていく。